

岡山小学校英語教育研究会（OASIS）

設 立 趣 意

現在世界においては、経済、社会の様々な面でグローバル化が急速に進展し、国際的な相互依存の関係が深まっている。このような状況の下では、広い視野、互いに理解し合い尊重し合う態度や協調性、そして積極的な自己表現力は不可欠なものとなっている。

平成 14 年度から新しい学習指導要領の下で実施されている小学校教育においても、総合的な学習の時間のなかで、国際的な共通語としての英語を使ったコミュニケーション能力を身につける活動が活発に展開されている。

岡山県内においても、英語活動に取り組む小学校がここ数年めざましく増加してきた。社会の要望を学校現場が真摯に受け止め、21 世紀を生きる子どもたちへの期待をもって、小学校の教員が動き出したあらわれであると感じる。

小学校から英語にふれて、慣れ親しむことは、今までの英語教育に大きなうねりを起こし、生涯にわたる一貫した英語学習に大きな影響を与えることになる。人格形成の過程や大脳生理学からみても、母語の習得における 9 歳の壁を含む小学校時代に英語と出会うことは、生き生きと自己表現し共生していく力を育むことにつながると考える。そしてこの力は、これからの日本人に最も必要とされる資質だと考える。

しかし、現状では、英語活動のあり方についての研究が学校内にとどまりやすく、学校間の情報交換の機会が少ないために、岡山県全体としての実践力が伸び悩んでいる傾向にある。英語活動についての情報を交換し、研究を進め、実践力を高める場としての組織に対するニーズが高まってきている。

さらに、「生涯にわたる一貫した英語学習」を展望した時、小学校・中学校・高等学校・大学さらには Senior までを見通して、それぞれの望ましいあり方を研究・実証していくことが重要である。

そこで、本研究会を設立し、英語活動に関する小学校間の活発な情報交換と、小学校教員の指導力・実践力の向上をめざしたいと考える。そして、小学校だけの視野からではなく、「生涯にわたる一貫した英語学習」を創造していくために、PEER NETWORK (Practical English language Education Reform NETWORK) = 英語教育実践ネットワークなどの他の研究機関と連携して活動を進めていきたい。

よって、ここに岡山小学校英語教育研究会を設立するものである。

発 起 人 (50 音順)

有友敬子（岡山大学大学院） 岡喜美世（倉敷市立乙島小学校） 賀川敦雄（岡山市立高田小学校） 垣下元子（岡山市立桃ヶ丘小学校） 柏野恵理子（岡山市立庄内小学校） 萱嶋淑美（倉敷市立中島小学校） 萱野一馬（岡山市立操南小学校） 齋藤祥子（邑久町立今城小学校） 佐々木謙二（新見市立思誠小学校） 佐藤大介（岡山大学大学院） 下山俊子（岡山市立足守小学校） 角田みどり（岡山市教育委員会） 高木直美（倉敷市立第五福田小学校） 田辺晴之（岡山市立津島小学校） 中川未帆子（岡山市立福浜小学校） 那須知美（熊山町立桜が丘小学校） 能登原昭夫（PEER NETWORK） 乗峯憲悟（勝央町立古吉野小学校） 藤井佐代子（岡山市立西小学校） 松畑熙一（岡山大学）